

信頼でできる担い手必要

足立議員が北海道
の除雪を視察



自民党の足立敏之参院議員は、北海道を訪問し、除雪の状況などを視察した。写真。足立議員は「豪雪は災害と同じようなものだ」と断言し、「（受注者には）その時に備えて準備をしていただくことが大事。パートナーとして信頼できる担い手が選べるよう、予算の確保・措置をしないといけない」と主張した。2月25日にコンセッション

（運営権付与）方式が導入されている新千歳空港の空港内の除雪センターを訪れた。除雪作業は運営会社と建設企業の間で民間契約が結ばれており、単年度が原則の公共発注と異なって安定的な委託・受注の関係が成り立っていることなどの説明を受けた。

26日は稚内建設協会の会員各社と意見交換した。国道の除雪作業は慣れているオペレーターでないと難しく、地元企業による継続的な受注が望ましいことが訴えられた。